

(様式4)

食育パートナーシップ事業 ～ (子育て世代への食育) ～

健康福祉事務所名 朝来

1 食育推進状況

食育推進課題	保育現場では多様化・複雑化した家庭への支援に対応するため、子ども及び保護者への食育を担う保育関係者のさらなる資質向上が必要。
推進方策	保育関係者が子どもの摂食嚥下や口腔機能の発達とその支援方法の理解を深める。啓発資材により、食への関心が低い世帯や長時間就労世帯への継続的な支援を図る。
進捗状況	保育士等による食事補助や子どもへの給食時の声かけや保護者への個別助言に研修内容を活用。 各機関・団体が乳幼児期から高齢期の食育推進を実施。

2 食育関係者

たじま農業協同組合特産課
保育協会(各支部)
南但馬生活研究グループ連絡協議会
いずみ会(各市)
歯科医師会
地域活動歯科衛生士会
学校給食センター(各市)
各市健康主管課
各市学校教育主管課
各市保育所主管課

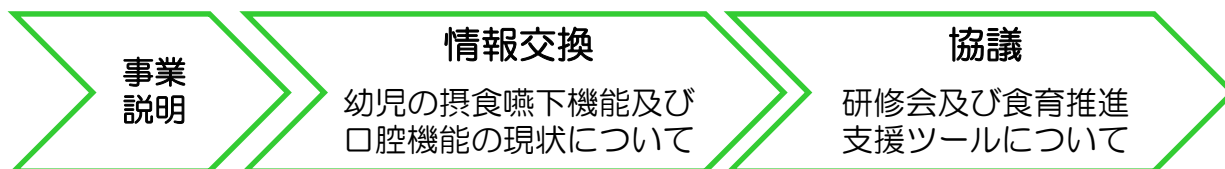
3 食育パートナーシップ実践活動の概要

実施テーマ	子育て世代の食育推進		
対象及び参加者数	管内保育関係者及び関係機関担当者 延べ140名		
課題及び目標	保育関係者が子どもの摂食嚥下・口腔機能の発達や支援方法を理解する。保護者への支援や啓発の方法を習得し、家庭への指導力の強化を図る。		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	平成27年10月31日 ささゆりホール	講演・演習 『乳幼児期の摂食・咀嚼・嚥下機能の発達と発育』	朝来市保育協会、歯科医師会、歯科衛生士、健康福祉事務所
	平成27年12月9日 やぶ保健センター	講演・演習 『乳幼児期の摂食・咀嚼・嚥下機能の発達と発育』	歯科医師会、歯科衛生士、健康福祉事務所
平成28年2月5日、2月～3月 朝来健康福祉事務所	食育推進啓発資材の内容検討及び作成	養父市保育協会 朝来市保育協会 朝来健康福祉事務所	
評価結果	該当施設の出席率:朝来市100%、養父市66.7% 出席施設への調査による結果評価:保育者による食事補助や子どもへの給食時の声かけ方法、保護者への個別助言において研修内容が活用された。 啓発資材の内容・活用状況の評価は、各施設への配付後に今後実施する。		

子育て世代の食育

～子育て世代への食育～食育検討会

平成27年9月7日(月)朝来健康福祉事務所 栄養指導室



幼児の摂食嚥下機能及び口腔機能について保育施設で気になること

- 離乳食が進みにくい、家庭では発達・発育に応じた離乳食が進められていない。
- 咀嚼が必要なものが食べられない、奥歯で噛むことが難しい、一口に入れる目安量が分らない、丸飲みしてしまうなど、咀嚼機能が十分でない児が増えている。
- 口が閉まらず、言葉が明瞭でない子どもがいる。
- 入園まで家庭での食経験が少なく、咀嚼しづらい食材がみられる など

保育関係者向け研修会

講演・演習「乳幼児期の摂食・咀嚼・嚥下機能の発達と発育」

講師 南但歯科医師会専務理事

養父市国民健康保険大屋歯科診療所 所長 歯科医師 砂治 國隆氏
歯科衛生士 高木 史恵氏

乳幼児期の摂食・咀嚼・嚥下に関わる機能の発達や口腔の成長、口腔機能の発達・発育状態と食物の形態を合わせることの重要性などについて講演していただきました。

出席施設の代表者が演習に参加



◎朝来会場◎ 朝来市保育協会と共催

日時:平成27年10月31日(土) あさご・ささゆりホールにて開催

子どもの摂食嚥下機能獲得を促すために、保育士による食事補助の仕方などについて演習しました。

スプーンの置く位置や抜き方には配慮が必要



◎養父会場◎

日時:平成 27 年 12 月 9 日(水) やぶ保健センターにて開催

<参加した保育所・こども園の先生の声>

- 口や舌の動き、発達の仕方がよくわかった。間食の内容にも工夫が必要だとわかった。
- 保育士による食事補助方法や給食時の声かけ方法等実践した。その時の子どもの反応に少し手応えを感じた。これからも続けていきたい。 など

食育啓発資材の作成

<これまでの取り組みで示された課題>

- 冷凍食品ばかり詰めている。ご飯と子どもが好きなおかずだけが入っている。
- 子どもの好きな献立だけが繰り返されている家庭がある。
- “子どもの弁当＝キャラ弁”と考える人も。 など

弁当保育日等を通じて主食・主菜・副菜を組み合わせた食事と副菜レシピを紹介する

平成 28 年 2 月 11 日(金)検討会

- 弁当内容は家庭によって差がある。副菜は入っていないことが多い。
- キャラクター弁当は子どもが喜ぶ。バランスのいいお弁当が良くない印象に映ってしまう。
- 弁当づくりで気をつける具体的なポイントがあるとよい。
- 使用する食材のバリエーションがあるとよい。 など



・子どもの食や人への感謝の念が高まった。

・食育活動を通じて、学校・園・子どもと地域のつながりが広がった。

子どもの肥満や働き盛り世代への効果的な取り組みなどは課題

南但食育推進ネットワーク会議

南但各機関・団体の食育推進状況報告

食育の成果と課題
今後の取り組み方策